

隔月連載 **デザインのきっかけ**
中小企業がデザインに踏み出すための第一歩を探る

デザインで自社を変えたい。でも、どうやって始めればいいのかわからない。そんな悩みを抱えるみなさんのために、中小企業とデザインの接点になる事例を紹介し、デザイン導入に向けての第一歩を踏み出すヒントとノウハウをお伝えします。

第3回 **企業とデザイナーを結ぶ“新しい見本市”**
「スミファ」「おおたオープンファクトリー」の事例から探る

中小企業がデザイナーと出会うためには、これまでデザインセミナーやデザイン関連の展示会に足を運ぶことが一般的でした。しかし最近では、デザイナーと中小企業を対象にした地域単位の小規模イベントが増えています。

その中のひとつ、昨年からは墨田区で始まった「スミファ すみだファクトリーめぐり」は、地域の町工場を広く公開するイベントです。そこで人気となったプログラムの一つが、デザイナーのための工場見学ツアーです。実行委員会の三田大介さんは「町工場には以前からデザイナーやアーティストから『工場見学させてほしい』という問い合わせがあり、個別に対応していました。ものづくりに興味を示す方々の中でも、仕事のパートナーになりやすいデザイナーにターゲットを絞ってツアーを企画したところ、工場と参加者双方から人気となりました」と話します。

大田区で一昨年からは始まった「おおたオープンファクトリー」も、おなじく地域ぐるみの町工場公開・体験イベントです。実行委員会の田中裕人さんは「デザイナーに頼むのではなく、デザイナーに興味を持ってもらおう。地域プロジェクトはそのきっかけになると思います」と話します。また、「もし、ものづくり企業が現状を変え、特に自社商品の開発を視野に

入れたいのなら、まずは多様な意見に触れるために自分の業界の外にいる人と触れ合うべき。受発注だけを目指すのではなく、ノウハウを学び取ることが重要です」と話されていたのも印象的です。

最終的にはビジネスに結びつけるためですが、まずは参加することで協働のためのノウハウを能動的に身につけることが重要です。短期的な利益のためではなく、長期的な取り組みの足掛かりにする気持ちでなければ、交流イベントに参加する意味も薄れてしまうでしょう。

ここで紹介した以外にも、行政や地域の有志たちの活動により、都内だけでも同様のイベントやセミナーなどが増えています。小さくてもテーマ性を持って開催されるイベントは、参加者同士をつなぐ「新しい見本市」の形かもしれません。

あなたの周りでは、こうしたイベントは立ち上がっていませんか？もし無かったとしても、これらは中小企業が主役となるものですから、周囲の仲間とともに立ち上げに挑戦することだってできるのです。まずは一度、既存のイベントに足を運んでみてはいかがでしょうか。

事業戦略支援室
 デザイン導入・活用支援事業
 アドバイザー 福本創平



どちらの催しでもデザイナーやクリエイターなどを対象とするツアーが行われ、毎回定員を上回るほどの申し込みがあるという(写真は今年の「おおたオープンファクトリー」の様子)。

スミファ すみだファクトリーめぐり

「ものづくり」の伝統が息づく墨田区で昨年始まった催し。テーマごとの工場見学ツアーのほかにも、各種企画が行われる。次回は11月8日(金)、9日(土)に開催予定。

<http://www.sumifa.jp/>

おおたオープンファクトリー

製造業・加工業などが集まる、都内有数の地域である大田区で2011年から実施されている、街ぐるみの工場公開イベント。今年は10月26日(土)に開催予定。

<http://www.comp.tmu.ac.jp/ssm/mon/openfactory.html>

問い合わせ先

事業戦略支援室 デザイン導入・活用支援事業担当

TEL:03-3832-3660 E-mail:senryaku@tokyo-kosha.or.jp

公社トップページ → 公社事業案内 → デザイン支援事業